

令和4年度 盛岡体育館 3 X 3 交流大会 (U-12/U-15) 競技規則

1 コートとボール

- ・コートサイズは、横 15m、縦 11mとする。
- ・ゴールの高さは、Uー12がミニバスケットボール競技用（高さ 260cm）とし、Uー15が一般競技用（高さ 305cm）とする。
- ・試合球は、Uー12が5号球とし、Uー15は3X3公式球とする。

2 登録選手

- ・各チーム3～5名とする
- ・必ず全員出場することとする
※交流大会の為、可能であれば毎試合全員出場を心がける

3 審判

- ・2名（各チームより1名ずつ）
※担当の割振りは、タイムテーブルに記載
※場合によっては、1名が派遣審判員となる場合がある
※万が一、諸事情により1名となった場合は、トレイルポジションから判定する

4 テーブルオフィシャル

- ・2名（タイマーとスコアラーで構成）
※3～4チームでのリーグ戦の為、試合ではないチームが担当し、引率責任者が作業補助を行う。
※担当の割振りは、タイムテーブルに記載

5 コートキーパー

- ・1～2名（1名でも可とする）。
※3～4チームでのリーグ戦の為、試合ではないチームが担当する。
※担当の割振りは、タイムテーブルに記載

6. ゲーム開始、終了時

フリースローラインを挟んで向かい合い、出場選手3名が開始時、終了時に礼をする。

7. ゲーム開始時のポゼッション

じゃんけんで勝ったチームが、ゲーム開始時のポゼッションとなる。

8 得点

アークの内側からの得点は1点、外側からの得点2点とする。

9 競技時間とゲームの勝敗

- ・試合時間は、7分ランニングタイム（もしくは21点先取）とする。
- ・同点の場合は、下記の順にて勝敗を決定する（延長戦は行わない）
 - ①タイムアップ時にコート上にいる3名によるフリースローにて勝敗を決定する
 - ②代表者によるじゃんけんで決定する。
- ・勝ち点により順位を決定する（勝ち：3点 負け：1点、勝ち点が並んだ場合は得失点差により決定、得失点差が同じ場合は代表者によるじゃんけんで順位を決定する）

10 ショットクロック

- ・14秒

11 タイムアウト

- ・なし

12 ショット時のファウル

- ①シュートが不成功の場合：アーク内からのショットは1本、アーク外からのショットは2本のフリースローを与える。
- ②シュートが成功した場合：得点はカウントとなり、アーク内外いずれも1本のフリースローを与える。

13 個人ファウルと退場

- ・なし（退場することはないが、故意的なファウルは審判より注意を与える）

14 チームファウルの制限

- ① 7、8、9個 ⇒フリースロー2本
- ② 10個以上 ⇒フリースロー2本+ボールポゼッション

15 フィールドゴールが成功したあとの攻撃権

- ・ディフェンスのチームにポゼッションが移る。バスケットの真裏からボールをドリブルまたはパスでアークの外まで運ばなければならない。新たにディフェンスになったチームは、ボールがバスケット真下の“ノーチャージセミサークル”の外に出るまで、ボールに対してディフェンスしてはならない。

1 6 ボールがデッドになった場合の再開

- ・ トップからチェックボールで再開する。

1 7 ディフェンスのチームがリバウンドをコントロールまたはスティールした場合

- ・ ボールをドリブルまたはパスでアークの外に運ばなければならない。

1 8 ジャンプボールシチュエーション後の再開

- ・ ディフェンスのチームにポゼッションが移り、トップからチェックボールで再開する。

1 9 交代

- ・ ボールがデッドかつチェックボールの前に可能。
- ・ 交代要員はバスケットと反対側のエンドラインに立ち、コートの外へ出たチームメートと交代でゲームに入る事が出来る。
- ・ 交代は審判やテーブルオフィシャルによる指示や合図を必要としない。

2 0 その他

- ・ ゲーム中は、チームで同一色のウェア（Tシャツやビブスも可）を着用
但しウェアの共有はしないこと。
- ・ ゲーム終了後の握手、及び試合中の交代の際の身体的接触（ハイタッチ等）は控える

※競技規則は、「2022 3x3 バスケットボール競技規則（2022 年 4 月 1 日施行）」に準ずるが、上記に記載のない場合は、競技規則の基本線を超えない範囲内において、ゲーム審判の判断で適宜に試合を進めることができるものとする。

また、選手及び、引率責任者は審判の判定に従うこととする。